

令和2年度 ほくとの決算



市が実施するさまざまな事業は、みなさんが納めた税金や国・道からの支出金、市債(借入金)などを財源として行なっています。税金などがどのように活用されたのか、令和2年度の決算をお知らせします。

問 市役所財政課財政係[内線218]

■特別会計の決算 (単位:千円)

会計名	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	4,961,361	4,861,656	99,705
後期高齢者医療事業	597,837	595,874	1,963
介護保険事業	4,658,706	4,576,450	82,256
土地区画整理事業	61,577	61,577	0
渡島公平委員会	1,614	50	1,564

■水道事業会計の決算 (単位:千円) ■下水道事業会計の決算 (単位:千円)

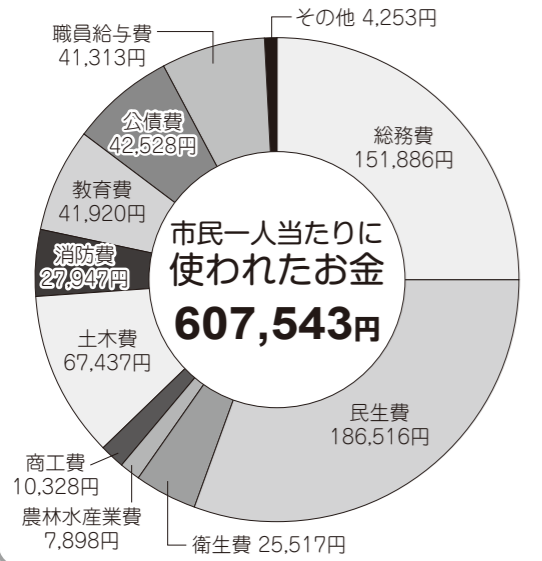
収益的収入	898,942	収益的収入	1,160,502
〃 支出	648,505	〃 支出	1,056,809
資本的収入	396,119	資本的収入	536,071
〃 支出	879,476	〃 支出	848,638

市には「受益」と「負担」の関係がはっきりわかるよう、一般会計と分けて経理する5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計があります。これら特別会計などの令和2年度決算額は左表のとおりです。水道事業会計・下水道事業会計の資本的収支不足は、建設改良積立金などで補うこととなります。

特別会計の決算額

一人当たりの税負担と使われたお金はいくら?

一般会計歳入のうち、市税の決算額は52億9,631万2千円で、この決算額を令和3年3月末現在の人口4万5,386人で割ると、市民一人当たりの負担額は、11万6,695円になります。また、一人当たりに使われたお金は、60万7,543円で、目的別では、福祉や医療、子育て環境の充実などのための予算科目、民生費に最も多く使われており、また新型コロナウイルス感染症対策経費を含む総務費にも多く使われていることとなります。



財政の健全化判断指標 実質公債費比率 4.4%(令和元年度 4.5%)

市の収入のうち、どれくらいを長期借入金の元利償還金の返済に充てているか判断する指標です。この比率が高い場合は、長期借入金の返済に追われ、財政の弾力性が低下することになります。(早期健全化基準25.0%)
※その他の指標の「実質赤字比率」「将来負担比率」、また、水道事業会計や下水道事業会計の「資金不足比率」はいずれも赤字や資金不足がありませんでしたので、数値が生じませんでした。

一般会計 令和2年度に使ったお金

歳出 決算額 **275億7,392万4千円**

歳出 [支払ったお金]

■目的別 (単位:千円,%)

区分	令和2年度		令和元年度		前年度との比較(A)-(B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
総務費	6,904,086	25.0	1,258,787	6.1	5,645,299
民生費	8,456,523	30.7	8,496,205	41.1	△ 39,682
衛生費	1,160,049	4.2	1,145,616	5.5	14,433
農林水産業費	338,138	1.3	567,625	2.8	△ 229,487
商工費	473,936	1.7	267,260	1.3	206,676
土木費	3,043,955	11.1	2,543,994	12.3	499,961
消防費	1,278,848	4.6	938,111	4.5	340,737
教育費	1,912,908	6.9	1,455,492	7.0	457,416
公債費	1,930,020	7.0	1,966,282	9.5	△ 36,262
職員給与費	1,884,752	6.8	1,834,216	8.9	50,536
その他	190,709	0.7	200,953	1.0	△ 10,244
計	27,573,924	100.0	20,674,541	100.0	6,899,383

■性質別 (単位:千円,%)

区分	令和2年度		令和元年度		前年度との比較(A)-(B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
人件費	2,325,528	8.4	2,046,482	9.9	279,046
公債費	1,930,020	7.0	1,966,253	9.5	△ 36,233
扶助費	6,301,369	22.9	6,210,324	30.0	91,045
普通建設事業費	2,300,160	8.3	1,801,372	8.7	498,788
災害復旧費	9,436	0.0	20,718	0.1	△ 11,282
失業対策費	0	0.0	0	0.0	0
繰出金	1,620,387	5.9	1,448,821	7.0	171,566
積立金	341,827	1.2	543,964	2.6	△ 202,137
投資及び出資金・貸付金	460,170	1.7	286,242	1.4	173,928
物件費	3,395,947	12.3	3,028,549	14.7	367,398
補助費等	8,184,731	29.7	2,952,136	14.3	5,232,595
維持補修費	704,349	2.6	369,680	1.8	334,669
計	27,573,924	100.0	20,674,541	100.0	6,899,383

令和2年度に入ってきたお金

一般会計 決算額 **281億6,928万1千円** **歳入**

歳入 [入ってきたお金]

(単位:千円,%)

区分	令和2年度		令和元年度		前年度との比較(A)-(B)
	総額(A)	構成比	総額(B)	構成比	
市税	5,296,312	18.8	5,192,887	24.6	103,425
分担金及び負担金	52,780	0.2	74,960	0.3	△ 22,180
使用料及び手数料	390,421	1.4	420,928	2.0	△ 30,507
繰入金	1,097,415	3.9	629,834	3.0	467,581
繰越金	249,935	0.9	225,256	1.1	24,679
諸収入	607,324	2.1	611,231	2.9	△ 3,907
その他	165,299	0.6	140,069	0.7	25,230
地方交付税	5,908,604	21.0	6,110,501	28.9	△ 201,897
市債	1,344,536	4.8	1,256,394	5.9	88,142
国庫支出金	9,973,823	35.4	3,541,427	16.7	6,432,396
道支出金	1,714,256	6.1	1,774,869	8.4	△ 60,613
地方譲与税	206,767	0.7	199,361	0.9	7,406
地方消費税交付金	1,036,211	3.7	842,087	4.0	194,124
その他	125,598	0.4	129,672	0.6	△ 4,074
計	28,169,281	100.0	21,149,476	100.0	7,019,805

一般会計の決算
5億9,535万7千円の黒字

一般会計の決算額は、歳入が281億6,928万1千円、歳出が275億7,392万4千円で、差引額は5億9,535万7千円です。このうち、令和3年度への繰越事業に充てられる財源816万1千円を除いた実質収支額は5億8,719万6千円となっています。

令和2年度歳入は、前年度に比べ70億1,980万5千円(33.2%)の増となりました。これは、新型コロナウイルス感染症対策事業に係る国庫支出金の大幅な増額によるものです。また、歳出についても、前年度に比べ68億9,938万3千円(33.4%)の増となりました。

歳入を性質別に分類すると、「義務的経費」「投資的経費」「その他経費」の3つに分けられます。義務的経費は、人件費や、借入金の償還金である公債費、児童手当・各種支援費などの扶助費があり、その支出が義務付けられている経費です。投資的経費は、道路や学校などを建設する普通建設事業費や、災害復旧費などの経費です。その他経費は、義務的経費や投資的経費に含まれない経費です。

投資的経費では、令和2年度に繰り越された茂辺地団地建設事業などにより普通建設事業費が前年度に比べ4億9,878万8千円増加しています。



茂辺地中央団地

その他経費では、特別定額給付金やひとり親世帯への臨時特別給付金、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金、そして第2弾まで行なったほくと地域応援券の実施に伴う地域経済緊急対策応援キャンペーン事業補助金といった新型コロナウイルス感染症拡大に対する事業のため、補助費等が前年度に比べて52億3,259万5千円の大幅な増額となりました。